

PTA活動等でのアクアコインの利用拡大による地域経済・コミュニティ活性化のご提案

2023年1月29日

井下 裕文

自己紹介

井下 裕文(いした ひろふみ)

木更津市在住。41歳、2児の父

出身は兵庫県(淡路島) その後(進学)京都府→(就職)東京都→(結婚)千葉県千葉市→(出産)袖ヶ浦市→木更津市→(転勤)神奈川県逗子市→(転勤)木更津市)

令和3年度木一小PTA会長、令和4年度は木一小学校支援ボランティアコーディネータ
都内の情報通信系企業勤務

趣味はテニス・フットサル・卓球など球技全般

Linkedin: <https://www.linkedin.com/in/hirofumi-ishita-b56b6870/>

はじめに 1)アクアコイン事業の理解

アクアコイン事業の目的

地域経済の活性化

地域コミュニティの
活性化

アクアコイン事業の課題

- ⇒ 利用者と加盟店の増加とそのテーマ選定
(限られた事業リソースをどの領域に集中させるか)

ご提案の概要

ご提案

PTA・学校の活動にアクアコインを導入

生み出される効果

①安全で簡単な
現金管理手法の
確立

②アクアコイン
利用者・組織の
拡大

③参加市民の
充実した生活の
実現

到達するGoal

学校・地域に
よる児童教育の持
続性の確保

地域経済の
活性化

地域
コミュニティ
の活性化

はじめに 2)PTA・学校教育の現場の課題

学校・地域による児童教育の持続性の確保

業務の断捨離・デジタル化

安全で簡単な現金管理手法の確立

PTA/教員ともに業務量多く非効率・煩雑な印象で、成り手が減少

時代に合わない業務の廃止、デジタル活用による効率化

小口の集金機会が多いが、PTAは法人格がなく、オンラインバンキング等に制約があり安全性・効率性に課題



①安全で簡単な現金管理手法の確立

煩雑な小口集金の例

- PTA会費(400世帯)／イベントでの弁当代(294個)
- 小学校教育後援会費の集金
- 中学校PTAの体育後援費の訪問集金
- 児童用品の購入代金の回収
- 児童向けイベントでの小口決済(釣り銭・売上の管理)
- 寄付の受付(木一小150周年記念事業) 等々

→煩雑でリスクのあるPTA・学校の現金管理をアクアコイン 導入で効率化！

②アクアコイン利用者・組織の拡大(導入PTAの拡大)

保護者や教員が比較的若く、電子マネーを受け入れやすい

予算規模があり、地域経済への貢献意向がある

- 年間予算100万円以上@木一小PTA
- 地域事業者からの購入が多い

PTAや学校はアクアコインと親和性が高く、

地域経済の活性化が期待できる

③参加市民の充実した生活の実現

現状の理解

- 行政のリソースは限られており、支援・サービスを待っているだけでは、ゼロサム/マイナスサムゲームではない

私の気づき

- 私自身、一歩踏み出して、PTAなどの**ボランティアに参加することで、仲間を増やし、学校教育環境の改善・効率化に協力することができた**



木一小PTAボランティアコーディネータとしての経験

のべ150名

※令和4年度の学校支援ボランティアによる、学校行事やPTA行事等への参加のべ人数
(1月末までの数字) 木一小在学児童数は約400人

- 木一小にて、PTA役員負担の軽減を目的に学校支援ボランティアの活用を推進
- Webフォームと、メールアドレス登録制度などを活用し、多くの保護者・地域の方にボランティアに参加いただくことができた
- PTAは無理でも、単発のボランティアなら参加したいというニーズが存在

→ ボランティアに興味を持つ方は存在するが、きっかけが重要

アクアコインによるボランティア参加のきっかけ作り

ボランティアポイントの創設

- PTA役員やボランティアにお茶を出す代わりに、ボランティアポイントを付与
- ポイントランキングを公開、上位者には市からの特典を付与
(花火観覧席・きさぽんグッズ・アクアラインマラソンの出場権等)
- ポイントが励みになったり、周りの人が参加していることへの気づき

※木一小の場合 1)、2)の合計で約5.3万円程度の予算感を想定

1)PTA役員は約70名 全体/それぞれの委員会等の個別の会議合わせて1人あたり平均5回の会議等参加と
仮定すると、35,000円/年間程度

2)学校支援ボランティアでは、**22年4月～23年1月末までのべ150名**のボランティアが参加
この参加状況を基準とし、1回あたり一人100ポイント付与した場合、1校あたりおおよそ
18,000円/年間程度

ボランティアのメリット

「使ったら終わりの現金収入」より

はるかに高い価値がある一生の資産を獲得できる

人脈(仲間)の形成
(楽しみ/インセンティブ)

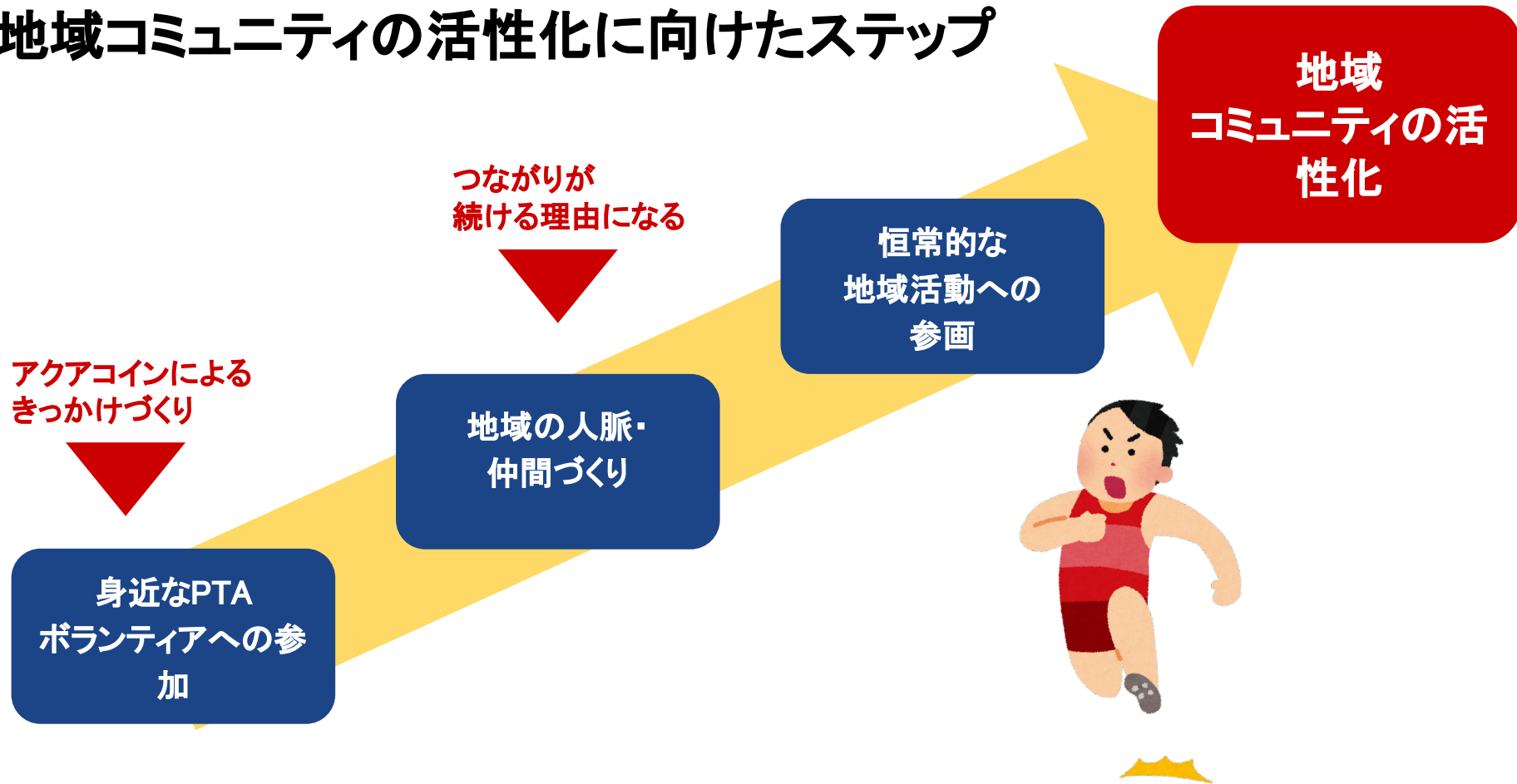
社会に貢献している実感を
得られる(自己肯定感)

一生使えるスキルの獲得
(自己効力感)

- 対価が発生しない関係性でのリーダーシップ、プロジェクトマネジメント
- 関連法規制の知識、最新のITツール類の活用

ボランティアのきっかけをアクアコインによって提供することで、**地域コミュニティの活性化**を実現したい！

地域コミュニティの活性化に向けたステップ



再掲:ご提案の概要

ご提案

PTA・学校の活動にアクアコインを導入

生み出される効果

①安全で簡単な
現金管理手法の
確立

②アクアコイン
利用者・組織の
拡大

③参加市民の
充実した生活の
実現

到達するGoal

学校・地域に
よる児童教育の持
続性の確保

地域経済の
活性化

地域
コミュニティ
の活性化

今後の展開

1. 特定のPTA／学校でのトライアル導入(第一小学校を想定)

- ボランティアのみならず、木一小150周年イベントでの寄付受付での活用も検討
- 課題の洗い出し、成功事例のプロモーションを実施
- 横展開用のマニュアル／ガイドライン(利用できる用途等)の作成

2. 導入PTA／学校数を徐々に増やす

- PTA／学校関連の事業者への普及促進
- ユーザー会のように、利用者同士が交流する場を設定
- PTA同士の取り組みの紹介などを気軽にできる場としても活用

3. 最終的に市内全てのPTA、小中学校での利用を目指す

本提案に必要な機能、仕組み

機能・仕組み	内容
組織で利用するための機能・仕組み	PTA関係者が、複数人で安全に利用するための、複数 IDで同一アクアコイン口座を利用する機能(多要素認証、操作記録保持、監査、利用履歴のエクスポート) 法人格を持たないPTAがアクアコインアカウントを保有できるような仕組み
インセンティブ付与機能	学校やPTAを支援するボランティアへのインセンティブ付与 (ボランティアポイント、スタンプカード機能、ランキング機能)の機能
アクアコインを受け取る機能	PTA会費や児童用品代等を保護者から回収する機能 地域からの寄付を受け付ける機能(小口寄付の実現)
児童が利用するための機能	イベントなどで児童に利用してもらうための ICカード型等アクアコイン、及びそのレンタルスキーム(恒常的利用なし、初期投資は避けたいためレンタルが必要)
学校のための機能	学校で購入する物品を扱う事業者が集まる店舗リストの作成